

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

学校名【春日市立春日東中学校】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	春日市立春日東中学校 第1学年 6クラス 女子 (84人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボールを通して、オリンピックの歴史や価値について興味・関心を高める。 ・球技（ネット型）の特性を生かした攻防や技能を高める。 ・ポジションの役割に応じたボール操作の技能を高める。
	<p>○事前学習として校内にオリンピック・パラリンピックの掲示物を作成し、視覚的な導入を行う。</p> <p>○全12時間の単元計画で実施 ※オリンピックで使用されるモデルと同じものを使用 ※号級は中学生用の4号級とする</p> <p>1 時間目</p> <p>○パワーポイントを使って、オリンピックの歴史や意義、バレーボールの特性を説明し学習した。</p> <p>2 時間目</p> <p>○オリエンテーションを行い、バレーボールを安全に行うためのルールの説明や用具の使い方、バレーボールネットの設置等環境づくりの指導を行った。</p>



	<p>3. 4. 5. 6時間目 ○基本的なボール操作の学習を行った。 アンダーハンドパス、オーバーハンドパスのポイントの説明し、ワンバンドパスや円陣パス等工夫した練習方法を通して、技術習得、技能を高めた。</p>  <p>7. 8時間目 ○サービス、サービスレシーブの学習 アンダーハンドサービス、フロッターサービスのポイントの説明し、反復練習を通して技能を高めた。</p>  <p>9. 10. 11時間目 ○ゲーム（条件付）を通して技能を高めた。 正規のルールを説明した上で、ワンバンドや返球回数を増やす等、ラリーが続くルールの工夫を行った。また、コートを狭くし、ミニゲームを行うことで、積極的にボールタッチをし、意図的に役割に合わせたボールコントロールができるよう学習した。 審判等についても、生徒で役割分担し進めた。</p> <p>12時間目 習得した技能をスキルテストを行い確認した。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができた。 ○バレーボールの基本的技術（アンダーハンドパス・オーバーハンドパス・サービス）の習得が見られた。 ○ルールを知ることによって、バレーボールへの興味、関心を高めることができた。 ○掲示物を使用して普段からオリンピック・パラリンピックに触れることで、1時間目の導入をスムーズに行うことができた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的にバレーボールに参加させるために、オリンピック・パラリンピックで実際に使用するモデルと同じボールを使用した。 ・生徒の技能レベルに応じて、ルールやコートを簡易化し、ゲームがスムーズに行えるよう工夫した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●1年生で実施したため、技能習得に時間がかかり、正規のルールでゲームをすることが困難であった。2, 3年生での実施が望ましい。 ●バレーボールとオリンピック・パラリンピックを関連づけた授業内容が薄かった。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>実施予定はないが次年度の2年生でも再度バレーボールを履修し、技能向上をはかりたいと考えている。 掲示物は引き続き行っていく予定である。</p>

